

# 第 10 期 決算速報

(平成 15 年 7 月 1 日から平成 16 年 6 月 30 日まで)



平成 16 年 8 月 2 日

## 株式会社 旅籠屋

---

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

---

## 四半期の業績

### (1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	当年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30	当年度 第2四半期 H15.10.1～ H15.12.31	当年度 第3四半期 H16.1.1～ H16.3.31	当年度 第4四半期 H16.4.1～ H16.6.30	当年度 累計 H15.7.1～ H16.6.30	前年度比	前年度 同期累計 H14.7.1～ H15.6.30
営業収益									
売上高		43,092	70,824	43,880	44,608	45,599	204,913	+12.3%	182,504
営業費用									
売上原価		38,855	39,449	43,052	35,522	45,798	163,821	+7.7%	152,075
販売費及び一般管理費		9,525	9,016	8,878	9,571	9,098	36,563	3.0%	37,684
営業利益または営業損失( )		5,287	22,359	8,049	484	9,297	4,528		7,254
営業外収益		47	1,961	511	166	88	2,727	+175.5%	990
営業外費用		1,570	1,577	1,497	1,989	1,413	6,476	+0.7%	6,434
経常利益または経常損失( )		6,809	22,743	9,034	2,307	10,621	778	-	12,699
特別利益		-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失		-	379	514	-	4	889	-	-
税引前四半期(当期)純利益または純損失( )		6,809	22,363	9,548	2,307	10,617	110	99.1%	12,699
法人税、住民税及び事業税		1,192	-	531	-	531	1,062	10.9%	1,192
四半期(当期)純利益または純損失( )		8,001	22,363	10,079	2,307	11,148	1,172	91.6%	13,891
前四半期繰越損益		143,764	151,766	129,403	139,482	141,790	151,766	10.1%	137,875
四半期(当期)未処分利益または純損失( )		151,766	129,403	139,482	141,790	152,939	152,939	0.8%	151,766

期中平均株式数	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	-	5,620株
1株当たり当期純利益または純損失( )	1,423円	3,979円	1,793円	410円	1,983円	208円	208円	-	2,471円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益(注1)	-	3,833円	-	-	-	-	-	-	-

(注1) 前年度第4四半期、当年度第2四半期、第3四半期、第4四半期、累計の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、最終損益が損失となるため記載を省略しております。

### (2) 部門別売上高 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

部門	期別	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	当年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30	当年度 第2四半期 H15.10.1～ H15.12.31	当年度 第3四半期 H16.1.1～ H16.3.31	当年度 第4四半期 H16.4.1～ H16.6.30	当年度 累計 H15.7.1～ H16.6.30	前年度比	前年度 累計 H14.7.1～ H15.6.30
本社		2,483	461	1,006	2,286	329	4,083	+9.5%	3,729
鬼怒川店		8,019	14,710	8,583	8,321	7,271	38,887	1.4%	39,452
那須店		5,528	11,245	5,868	5,997	6,090	29,202	+16.9%	24,986
秋田六郷店		3,909	5,911	3,897	3,085	4,724	17,618	+13.9%	15,467
山中湖店		8,338	14,755	8,338	8,138	8,490	39,722	+14.4%	34,736
沼田店		6,262	8,753	7,011	7,694	6,180	29,639	+4.7%	28,316
水戸大洗店		5,081	9,427	6,082	6,188	6,044	27,743	+12.8%	24,602
北上店		3,469	5,558	3,093	2,894	3,532	15,079	+34.5%	11,212
仙台亘理店		-	-	-	-	2,936	2,936	-	-
合計		43,092	70,824	43,880	44,608	45,599	204,913	+12.3%	182,504

### (3) 部門別経常損益 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

部門	期別	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	当年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30	当年度 第2四半期 H15.10.1～ H15.12.31	当年度 第3四半期 H16.1.1～ H16.3.31	当年度 第4四半期 H16.4.1～ H16.6.30	当年度 累計 H15.7.1～ H16.6.30	前年度比 (差額)	前年度 累計 H14.7.1～ H15.6.30
本社 (注1)		7,656	7,251	8,436	8,238	9,616	33,542	+2,035	35,577
鬼怒川店		725	6,631	324	1,983	721	8,217	644	8,861
那須店		46	5,525	489	1,256	362	7,634	+2,729	4,905
秋田六郷店		1,091	1,424	998	878	222	229	+2,294	2,523
山中湖店		1,163	7,882	808	2,326	1,574	12,592	+3,157	9,435
沼田店		731	3,233	1,104	2,251	264	6,853	+888	5,965
水戸大洗店		138	4,351	282	933	339	5,341	+1,455	3,886
北上店		868	946	2,023	1,564	1,522	4,163	+3,489	7,652
仙台亘理店		-	-	21	378	1,523	1,923	-	-
合計		6,809	22,743	9,034	2,307	10,621	778	+13,477	12,699

(注1) 本社の経常損益には、オープン準備中であった「小淵沢店」の経常損失を含んでおります。

**(4) 貸借対照表** (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目		期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度
			第4四半期末 H15.6.30	第1四半期末 H15.9.30	第2四半期末 H15.12.31	第3四半期末 H16.3.31	第4四半期末 H16.6.30
<b>(資産の部)</b>	流動資産						
	現金預金		11,185	30,787	28,534	19,915	9,164
	その他		4,302	4,346	5,306	4,888	6,273
	流動資産合計		15,487	35,134	33,841	24,803	15,437
	固定資産						
	有形固定資産		389,232	385,254	381,183	388,543	382,841
	無形固定資産		2,323	2,163	2,166	1,997	1,828
投資その他の資産		15,514	15,405	17,162	18,935	19,017	
	固定資産合計		407,071	402,823	400,511	409,476	403,687
	資産合計		422,559	437,957	434,352	434,280	419,125
<b>(負債の部)</b>	流動負債		57,061	4,519	8,929	24,421	67,745
	固定負債		217,064	262,641	264,706	251,450	204,119
	負債合計		274,125	267,161	273,635	275,871	271,865
<b>(資本の部)</b>	資本金		281,000	281,000	281,000	281,000	281,000
	資本剰余金						
	資本準備金		19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
	利益剰余金						
	四半期(当期)未処分利益または損失( )		151,766	129,403	139,482	141,790	152,939
	資本合計		148,433	170,796	160,717	158,409	147,260
	負債資本合計		422,559	437,957	434,352	434,280	419,125
	発行済株式総数		5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株
	1株当たり純資産		26,411円	30,390円	28,597円	28,186円	26,202円

**(5) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項**

第1四半期から第3四半期までの貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 重要な会計方針」をご参照ください。

事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法	各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
繰延資産の処理方法	各四半期末の繰延資産償却費は、年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
経過勘定項目	未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しております。
税金の計上基準	法人税、住民税および事業税は、計上を省略しております。
消費税等の会計処理	仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しております。

**(6) 重要な会計方針**

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物：17～18年、構築物：15～20年、車両運搬具：4～6年、工具器具備品：3～8年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3) 長期前払費用

定額法を採用しております。

2. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## 第 10 期（平成 15 年 7 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）の業績の概況

### (1) 本社

売上高は前期に比べ増加（+9.5%）し、経常損失も経費削減などにより 2,035 千円減少しました。

### (2) 鬼怒川店

7 店舗の中で唯一、前期に比べ稼働率（57.7→54.8%）、売上高（-1.4%）、経常利益（-644 千円）とも減少しました。鬼怒川エリア全体の観光客が減少しておりますが、建物の改良工事（6～7 月実施済み）や周辺 PR の強化により業績の回復を図っているところです。

### (3) 那須店

前期に比べ、稼働率（52.6→64.8%）、売上高（+16.9%）、経常利益（+2,729 千円）とも大幅に業績が伸びております。昨年 12 月に実施した大幅な改築工事の効果もあるようです。

### (4) 秋田六郷店

固定客が着実に増加し、稼働率（45.5→54.6%）、売上高（+13.9%）とも前期を大幅に上回り、経常損益も大きく改善（+2,294 千円）しましたが、わずかながら黒字に届かず 229 千円の経常損失となりました。7～8 月にかけて建物の改装や設備の改良工事を行っており、来期はさらに稼働率を向上させ、大幅な黒字計上を目指しているところです。

### (5) 山中湖店

稼働率（70.9→75.4%）、売上高（+14.4%）、経常利益（+3,157 千円）とも大幅に前期を上回りました。さらに増加する余地は限られているため、今期は現状維持が目標です。

### (6) 沼田店

「山中湖店」同様、稼働率（81.2→84.0%）、売上高（+4.7%）、経常利益（+888 千円）とも前期を上回りにきわめて好調ですが、さらに増加する余地は限られているため、今期は現状維持が目標です。

### (7) 水戸大洗店

稼働率（63.3→74.6%）、売上高（+12.8%）、経常利益（+1,455 千円）ともに前期を上回り好調です。「山中湖店」「沼田店」と同様、今期は現状維持が目標です。

### (8) 北上店

稼働率（30.5→40.9%）、売上高（+34.5%）とも前期を大幅に上回り、経常損益も大きく改善（+3,489 千円）しましたが、黒字化には遠く及ばず 4,163 千円の経常損失となりました。「仙台亘理店」のオープンによる相乗効果の期待もあり、来期はぜひとも黒字転換を実現したいと考えております。

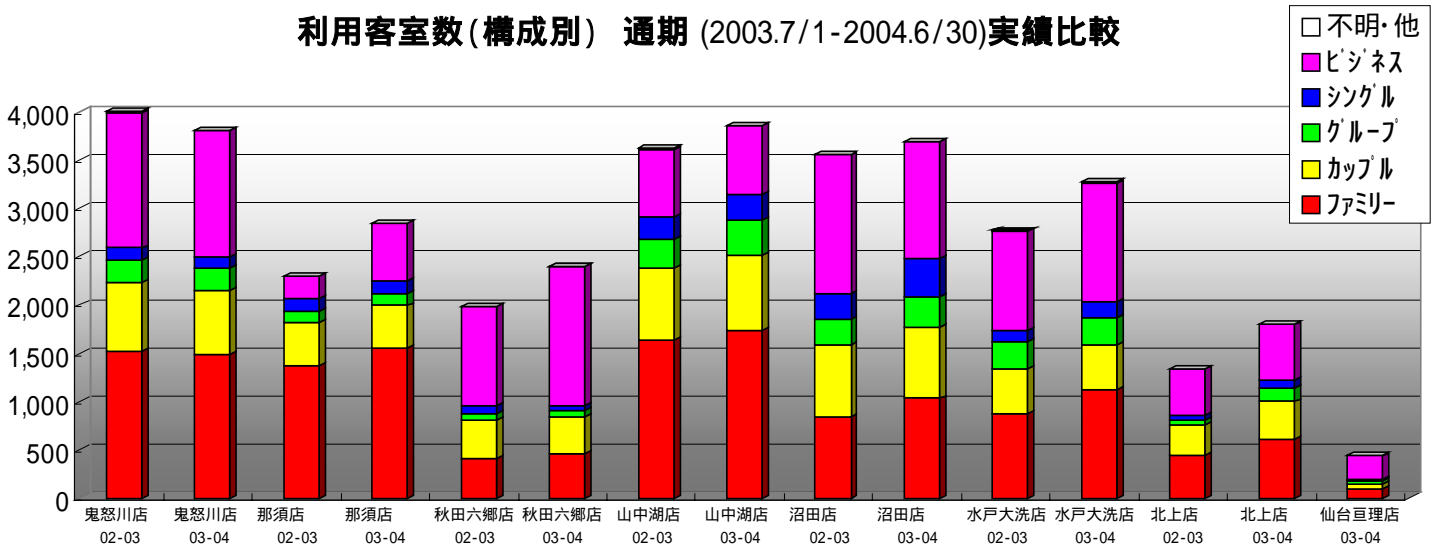
### (9) 仙台亘理店

オープンから 2 ヶ月しか経過していませんが、稼働率が 52.7%、経常損失も 1,923 円にとどまり、順調なスタートを切っております。夏休みも好調に推移しており、来期は大幅な黒字計上を目指しております。

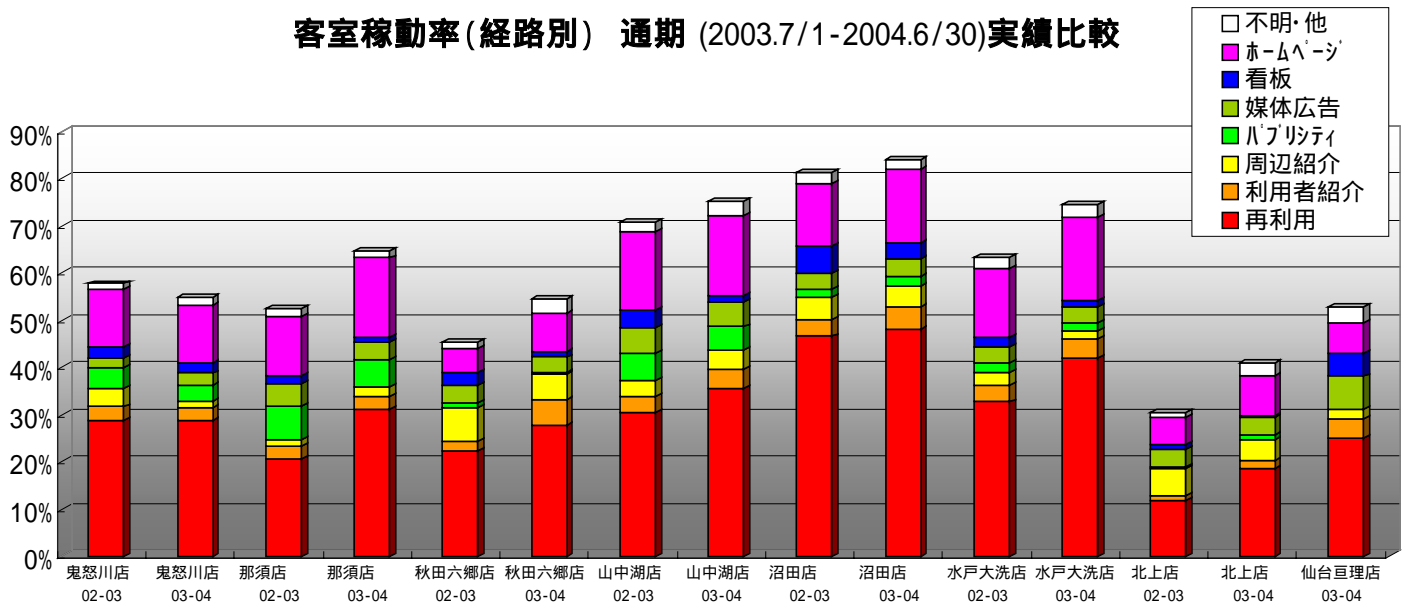
### (10) 全社

「鬼怒川店」を除く全店舗で業績が前期を上回り、売上高 204,913 千円（前期比+12.3%）、営業利益 4,528 千円（前期は 7,254 千円の営業損失）、経常利益 778 千円（前期は 12,699 千円の経常損失）となり、会社設立以来初めて経常利益が黒字となりました。しかしながら、当期純損益は 1,172 千円の損失となり、わずかながら黒字転換には届きませんでした。第 3 四半期末の予想を 3,000 千円ほど下回る結果となりましたが、これは地代・家賃・保険料などの経過勘定の見積り違いによるものです。

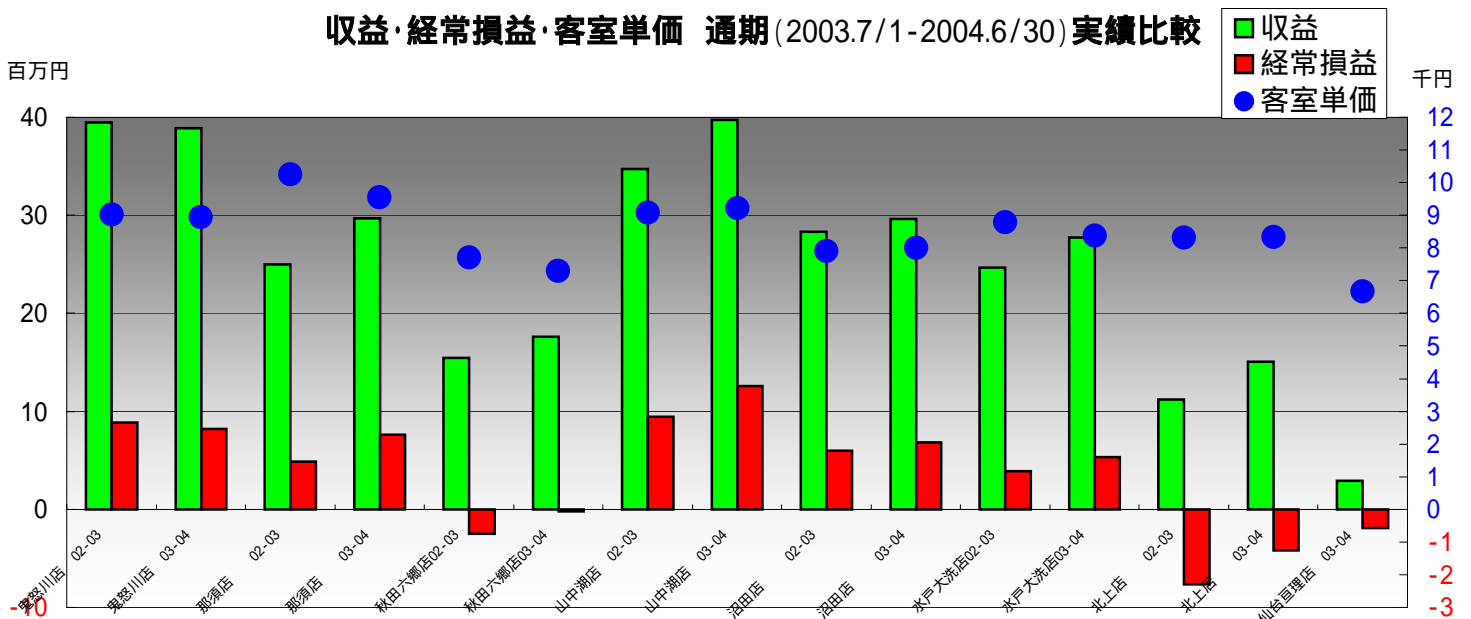
### 利用客室数(構成別) 通期 (2003.7/1-2004.6/30)実績比較



### 客室稼働率(経路別) 通期 (2003.7/1-2004.6/30)実績比較



### 収益・経常損益・客室単価 通期 (2003.7/1-2004.6/30)実績比較



## 第 11 期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第 10 期 実績 H15.7.1 ~ H16.6.30	第 11 期				通期予想 H16.7.1 ~ H17.6.30
		第 1 四半期 予想 H16.7.1-9.30	第 2 四半期 予想 H16.10.1-12.31	第 3 四半期 予想 H17.1.1-3.31	第 4 四半期 予想 H17.4.1-6.30	
売上高	204,913	85,000	54,000	51,000	52,000	242,000
経常損益	778	26,000	1,000	1,000	4,000	24,000
当期純損益	1,172	25,000	0	0	5,000	20,000

第 8～10 期の当期純損失は、34,601 千円 13,891 千円 1,172 千円と大幅に縮小しており、来期は 20,000 千円の黒字計上を予想しております。ただし、期中の新店舗のオープン時期が未定のため、上記の数値は既存 9 店舗の予想を積み上げたもので、新店舗の具体化により増減する可能性があります。新店舗の早期オープンによって、売上高 250,000 千円と当期純利益の上積みを目指しているところです。

## 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第 10 期 第 1 四半期 H15.7.1 ~ 9.30	第 10 期 第 2 四半期 H15.10.1 ~ 12.31	第 10 期 第 3 四半期 H16.1.1 ~ 3.31	第 10 期 第 4 四半期 H16.4.1 ~ 6.30
現金および預金の増減額		+ 19,602	2,253	8,619	10,751
現金および預金の四半期首残高		11,185	30,787	28,534	19,915
現金および預金の四半期末残高		30,787	28,534	19,915	9,164

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第 10 期 第 1 四半期 H15.7.1 ~ 9.30	第 10 期 第 2 四半期 H15.10.1 ~ 12.31	第 10 期 第 3 四半期 H16.1.1 ~ 3.31	第 10 期 第 4 四半期 H16.4.1 ~ 6.30
短期借入金の増減額		15,000	-	+ 20,000	0
短期借入金の四半期首残高		15,000	-	-	20,000
短期借入金の四半期末残高		-	-	20,000	20,000

短期借入金は、東京シティ信用金庫からの短期運転資金借入れ20,000千円（本年8月返済予定）です。

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別	第 10 期 第 1 四半期 H15.7.1 ~ 9.30	第 10 期 第 2 四半期 H15.10.1 ~ 12.31	第 10 期 第 3 四半期 H16.1.1 ~ 3.31	第 10 期 第 4 四半期 H16.4.1 ~ 6.30
長期借入金の増減額		+ 13,570	+ 2,470	12,444	6,698
長期借入金の四半期首残高		245,309	258,879	261,349	248,905
長期借入金の四半期末残高		258,879	261,349	248,905	242,207

借入金の減少は、約定返済によるものです。

## 今後の事業展開と出店計画について

### 「小淵沢店」がオープン

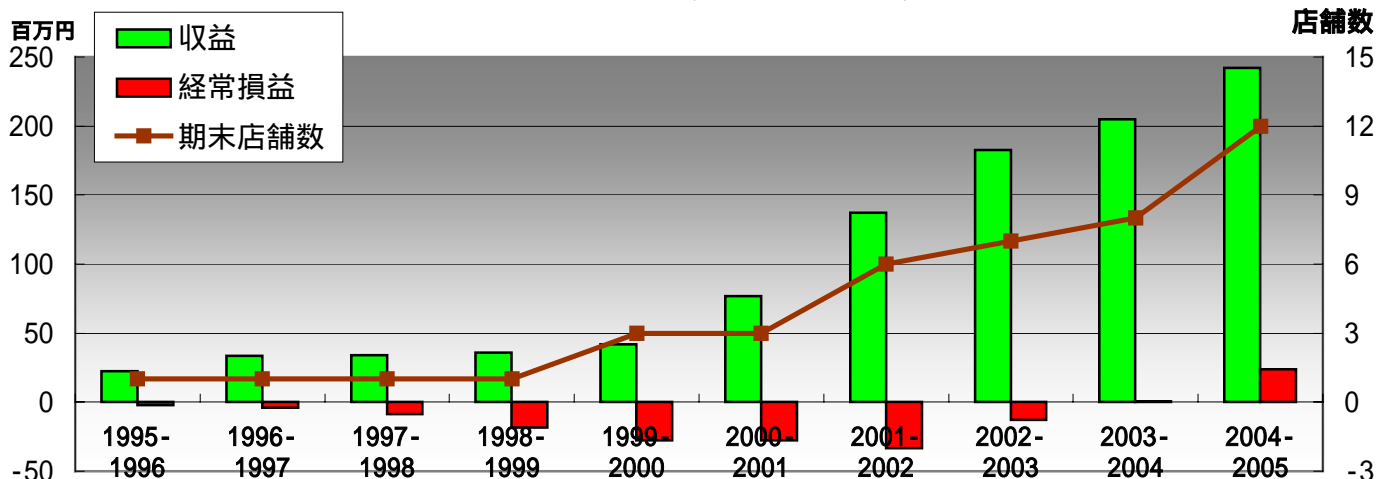
4月の「仙台亙理店」に続き、7月17日予定通り「小淵沢店」がオープンし、9店舗となりました。幹線道路沿いではなく、JR「小淵沢駅」裏という従来にない立地ですが、夏休みは順調に予約で埋まりつつあります。



### 各店舗の改良工事を実施中

「泊まり心地」をさらに向上させ、稼働率のアップと利益拡大を図るため、昨年末の「那須店」に続き、「鬼怒川店」「秋田六郷店」「山中湖店」「沼田店」「水戸大洗店」「北上店」の改良工事を実施中です。8月上旬にはすべて完了の予定で、インターネットへの無料アクセス（ラウンジ）、トイレの洗浄機能付き便座の設置（全客室）、朝の焼きたてパンの提供が、全店で実施されることとなります。

年度別 業績推移 (2004-2005は予想)



### 今後の出店計画

毎月数件の引き合いが寄せられ、現在、茨城県・岩手県・静岡県などで具体的な交渉が進んでおります。首都圏から西への展開を優先させ、今期は、「小淵沢店」を含め3～5店舗の出店を目指しておりますが、性急な投資は損益・収支を悪化させる要因ともなりますので、慎重に立地と時期を選びながら検討する計画です。なお、6月からは国土交通省提供の「土地活用バンク」の中で「代表的な有効活用20例」としてネット上で紹介されております。

また、日本道路公団からも民営化にともなうサービスエリア活用策としてヒアリングを受けており、具体的な出店につながることを期待しているところです。

### 社内体制の強化とリスク対策

社内の情報の共有化を図るため「旅籠屋ネット」を開設、店舗運営マニュアル、社内掲示板、各種報告フォームなどを一元化しました。こうした管理業務の増加と、集客や新規店舗開発の強化を図るため、7月に本社スタッフを1名増員し、9月の株主総会時には財務に詳しい監査役の選任を諮る予定です。

また、社員数が20名を超えたこともあり、来期中には支配人の病気などに備えた団体保険に加入し、リスク対策を図る計画です。

以上